

## 子宮頸がんワクチンの

9価の子宮頸がんワクチン（HPV ワクチン）が

公費で接種できるようになりました



令和5年4月1日より、既存のサーバリックス（2価 HPV ワクチン）、ガーダシル（4価 HPV ワクチン）に加え、**シルガード9（9価 HPV ワクチン）**が新たに**定期接種の対象**となりました。

これまでに区から送付された予診票を使って、9価ワクチンを接種することができます。

### HPV ワクチンの効果

子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。子宮頸がんは、若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんで、日本では毎年約1.1万人の女性がかかり、毎年約2900人の女性が亡くなっています。

子宮頸がんの主な発癌要因はHPV（ヒトパピローマウイルス）で、HPV ワクチンは、HPV の感染を予防するので、結果的に子宮頸がんが予防されます。

サーバリックスおよびガーダシルは、HPV16型と18型を防ぐことができるので、子宮頸がんの原因の50～70%を防ぎます。

**シルガード（9価 HPV ワクチン）**は、HPV の16型と18型に加え、他5種類のHPV 感染を防ぐため、子宮頸がんの原因の80～90%を防ぎます。

### 対象者

小学6年生（12歳相当）から高校1年生（16歳相当）

接種を受けるためには接種**予診票**が必要です。

子宮頸がんワクチンの接種は、**ご予約制**です。

対象年齢の方で**予診票がない方は、お住まいの区にお問い合わせの上、ご予約をお願いいたします。**

## 接種回数

### サーバリックス（2価HPVワクチン）

初回接種後1か月の間隔をおいて2回目、初回から6か月の間隔をおいて3回目を接種



### ガーダシル（4価HPVワクチン）

初回接種後2か月の間隔をおいて2回目、初回から6か月の間隔をおいて3回目を接種



### シルガード9（9価HPVワクチン）

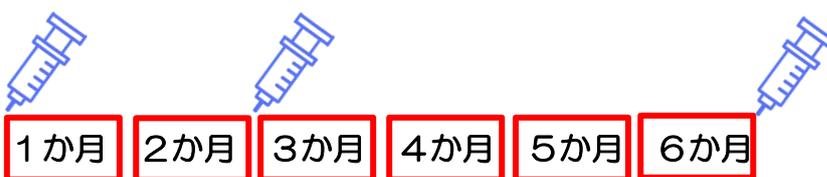
#### 2回接種の場合

初回接種から6か月（最低5か月以上）の間隔をおいて2回目を接種



#### 3回接種の場合：1回目の接種を15歳の誕生日以降に受ける場合

2か月の間隔をおいて2回、3回目は初回から6か月の間隔をおいて接種



## HPV ワクチンの効果やリスク等（厚生労働省リーフレット）

厚生労働省「HPV ワクチンに関する Q&A」（外部サイトへリンク）

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv\\_qa.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_qa.html)

冊子のリンクはこちらです。↓

[ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん（子宮けいがん）と HPV ワクチン～ | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)

- 小学校 6 年生～高校 1 年生相当の女の子と保護者の方向け



- [HPV ワクチンについて知ってください  
～あなたと関係のある“がん”があります（詳細版）](#)



- 9 価の「HPV ワクチン」を公費で接種できるようになりました

[9 価ヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチン（シルガード 9）について | 厚生労働省 \(mhlw.go.jp\)](#)

